

日銀シス第21号

2019年4月17日

オンライン担保差入先 御中

日 本 銀 行

「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則（担保関係事務）」の
一部改正等に関する件

「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」（平成29年法律第63号）の施行に際して元号が改められること（以下「改元」といいます。）に伴い、標記規程の一部を別紙1のとおり改正し、2019年5月1日から実施するとともに、別紙2のとおり経過措置を講ずることとしましたので、通知します。

なお、改元前後の日本銀行金融ネットワークシステムの入出力に関する取扱いについては、「改元に伴う事務処理対応等に関する件」（2019年4月3日付日銀業第286号）別紙2の3. を併せてご参照ください。

以 上

「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則（担保関係事務）」中一部改正

○ 第1編 I. 7. (2) を横線のとおり改める。

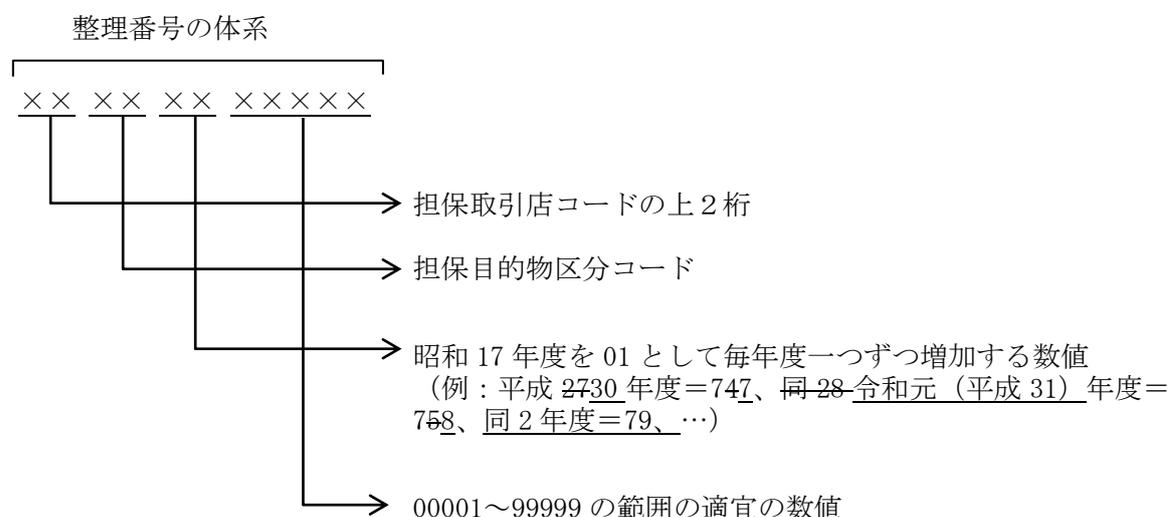
(2) 整理番号

日本銀行が邦貨手形、証書貸付債権および外貨建証書貸付債権の担保受入を行うと、下記の体系の11桁の番号が付されます。これが「整理番号」です。邦貨手形（電子記録債権）および証書貸付債権（電子記録債権）については担保受入1件毎^(注)に、邦貨手形（邦貨手形（電子記録債権）を除きます。）については手形1枚毎^(注)に、証書貸付債権（証書貸付債権（電子記録債権）を除きます。）および外貨建証書貸付債権については証書貸付債権証書1通毎（シンジケート・ローン債権の場合には、シンジケート・ローン債権証書の写1通毎）に整理番号が付されます。整理番号は、「整理番号通知」、「担保差入受付通知」等各種通知に記載されます。

オンライン担保差入先は、この整理番号を指定して照会を行うことができます。

なお、担保差入時に付された整理番号は、一部受戻日における期日担保返戻を行った場合でも継続して使用します。また、担保として差入れていた邦貨手形を一旦受戻した後、再度担保として差入れる場合には、当該担保に付されていた整理番号を再度使用します。

(注) 邦貨手形にかかる担保差入の手続きをオンラインで行う場合には、1画面で複数件または複数枚の入力を行うことができますが、1件または1枚毎に整理番号が付されます。



- 第2編の業務処理区分「担保受払等 担保差入・返戻依頼 担保差入(邦貨手形)」(コード541104)のを横線のとおり改める。

- ①
年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。
(例) 平成令和2-8-4年7月1日(和暦) …… [28040701]
 " (西暦) …… [2016220701]
この入力省略することができます(入力を省略した場合には送信日として扱います。)
- ②
一般手形=3、CP=4のいずれかを入力します。
(例) 一般手形…… [3]、CP…… [4]
- ③
(例) 10億円…… [1000000000]
- ④
邦貨手形(電子記録債権)の場合には、上2桁が41となるコードを入力します。
(例) ○○商事…… [123456]
- ⑤
(例) 1億円…… [100000000]
- ⑥
年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。
邦貨手形(電子記録債権)の場合には、記録事項証明書に記載された発生日(電子記録の年月日)を入力します。
(例) 令和4年6月20日(和暦) …… [040620]
 平成28年6月20日(和暦) …… [H280620]^(注)
 " (西暦) …… [20160620]
- (注) 平成31年4月30日以前の日を和暦で入力する場合には、冒頭に「H」を付してください。
- ⑦
年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。
邦貨手形(電子記録債権)の場合には、記録事項証明書に記載された支払期日を入力します。

(例) 平成令和~~2-8-4~~年9月1日(和暦)……[28040901]^(注)

〃 (西暦)……[2016220901]

(注) 令和1年5月1日以降の年月日を平成換算の年で入力することもできます。この場合、冒頭に「H」を付してください。また、出力帳票上、令和換算の年が表示されます。

⑧ ④に対応する邦貨手形の担保受払区分コードを入力します。

他所払手形=06、当所払手形=07、邦貨手形(電子記録債権)=17のいずれかを入力します。

(例) 他所払手形……[06]、

当所払手形……[07]、

邦貨手形(電子記録債権)……[17]

⑨ 担保として差入っていた邦貨手形を一旦受戻した後、再度担保として差入れる場合には、当該邦貨手形上に付されている整理番号を入力します。

(例) 整理番号40516612345……[40516612345] ボタン

邦貨手形(電子記録債権)の場合には、記録事項証明書上に付されている整理番号を入力します。

担保として初めて差入れる邦貨手形である場合には、整理番号の入力は不要です。

⑩～⑮ ④～⑨と同様の手順を繰り返します。

担保として差入れる邦貨手形が複数にわたる場合には、④～⑨の手順を繰り返し、最後に ボタンを押します。連続して繰り返さなかった場合には、エラーとなります。

なお、1画面に入力できる枚数は10枚までで、上から順に詰めて入力します。

ただし、邦貨手形(邦貨手形(電子記録債権)を除きます。)および邦貨手形(電子記録債権)の双方を同時に入力することはできません。

○ 第2編の業務処理区分「担保受払等 担保差入・返戻依頼 担保差入(証書貸付債権)」(コード541105)のを横線のとおり改める。

① 差入日(送信日または送信日の翌営業日に限ります)を入力します。

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例) 平成令和~~2-9~~年4月~~2-5-4~~日(和暦)……[02904254]

〃 (西暦)……[20172004254]

この入力は省略することができます(入力を省略した場合には送信日として扱います)。

② 債務者（支払人等コード）を入力します。

証書貸付債権（電子記録債権）の場合には、上2桁が41となるコードを入力します。

（例）〇〇商事…… [123456]

③ 担保として差し入れる証書貸付債権の担保受払区分コードを入力します。

担保として差し入れる各証書貸付債権の担保受払区分に応じて入力します。なお、政府（特別会計を含みます。）に対する証書貸付債権または政府保証付証書貸付債権であって、証書貸付債権証書上の譲渡または質入を禁止する期間が5営業日であるものについては「一括返済の証書貸付債権（5営業日前返戻分）」または「分割返済の証書貸付債権（5営業日前返戻分）」の担保受払区分コードを入力してください。

（例）一括返済の証書貸付債権（08）…… [08]

分割返済の証書貸付債権（09）…… [09]

証書貸付債権証書上の譲渡または質入を禁止する期間が5営業日である政府に対する一括返済の証書貸付債権（20）…… [20]

④ 担保として差し入れる証書貸付債権の元本額（シンジケート・ローン債権の場合にはオンライン担保差入先の融資額）（15桁以内）を入力します。

（例）10億円…… [1000000000]

⑤ 担保として差し入れる証書貸付債権の残存元本額（シンジケート・ローン債権の場合にはオンライン担保差入先の融資残高）（15桁以内）を入力します。

（例）8億円…… [800000000]

元本額と残存元本額（シンジケート・ローン債権の場合には融資額と融資残高）が同一の場合には入力を省略できます。

⑥ 担保として差し入れる証書貸付債権の契約締結日を入力します。

年月日（和暦または西暦のいずれか一方）を入力します。

証書貸付債権（電子記録債権）の場合には、記録事項証明書に記載された発生日（電子記録の年月日）を入力します。

（例）令和2年4月20日（和暦） …… [020420]

平成28年4月20日（和暦） …… [H280420]^{（注）}

〃 （西暦） …… [20160420]

（注）平成31年4月30日以前の日を和暦で入力する場合には、冒頭に「H」を付してください。

⑦ 担保として差し入れる証書貸付債権の最終返済期日を入力します。

年月日（和暦または西暦のいずれか一方）を入力します。

証書貸付債権（電子記録債権）の場合には、記録事項証明書に記載された最終支払期日

(電子記録の年月日)を入力します。

(例) 平成令和3-3年4月21日(和暦) …… [3030421]^(注)

〃 (西暦) …… [20210421]

(注) 令和1年5月1日以降の年月日を平成換算の年で入力することもできます。この場合、冒頭に「H」を付してください。また、出力帳票上、令和換算の年が表示されます。

⑧ 担保として差入れる証書貸付債権の付随担保の有無を入力します。

(例) なし …… [0]、あり …… [1]

政府保証付証書貸付債権の場合には、付随担保はないものとして取り扱います。

証書貸付債権に付随する担保がない場合には入力を省略できます。

⑨ 担保として差入れる証書貸付債権の債務者から徴求した「証書貸付債権の担保差入に係る承諾書」の債務者による承諾日付を入力します。政府保証付証書貸付債権の場合には債務者による承諾日付、シンジケート・ローン債権の場合において、「証書貸付債権の担保差入に係る承諾書」に代えて、担保差入通知書謄本を提出するときは、差入日付を入力します。証書貸付債権(電子記録債権)の場合には、日本銀行へ譲渡記録が行われた日付を入力します。

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例) 平成令和2-9年4月20日(和暦) …… [0290420]

〃 (西暦) …… [201720420]

⑩ 担保として差入れる証書貸付債権の債務者から徴求した「証書貸付債権の担保差入に係る承諾書」の確定日付を入力します。政府(特別会計を含む。)に対する証書貸付債権の場合には、財務大臣による承諾日付、地方公共団体に対する証書貸付債権の場合には、知事または市区町村長による承諾日付、シンジケート・ローン債権の場合において「証書貸付債権の担保差入に係る承諾書」に代えて、担保差入通知書謄本を提出するときは、差入日付を入力します。証書貸付債権(電子記録債権)の場合には、日本銀行へ譲渡記録が行われた日付を入力します。

担保として差入れる証書貸付債権の返済方法が一括返済の場合には「実行」ボタンを押します。また、返済方法が分割返済の場合には⑪～⑳の入力を続けます。

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例) 平成令和2-9年4月21日(和暦) …… [0290421]

〃 (西暦) …… [2017200421]

⑪～⑳ 返済方法が分割返済の場合には、差入日以降の返済予定について、次のいずれかの方法またはこれらの組み合わせにより入力します。

(1) 特定の期間において一定の間隔で同一日に同一金額を返済する場合

⑪ 返済期日(自)を入力します。

年月(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

⑫

年月 (和暦または西暦のいずれか一方) を入力します。

⑬

⑭

返済期日として月末日を指定する場合には99または31と入力します。

国有林野事業債務管理特別会計に対する証書貸付債権の場合にも、証書上の返済期日を入力します。

⑮

(例) 平成令和2-9年4月から平成令和3-3年4月まで3ヶ月ごとに各月末に5千万円返済……

返済期日	返済金額 (円)
[02904] ~ [03304] まで [3] ヶ月毎 各 [99] 日	50000000

(2) 特定の日に返済する場合

⑪

年月 (和暦または西暦のいずれか一方) を入力します。

⑫⑬

⑭

返済期日として月末日を指定する場合には99または31と入力します。

証書貸付債権の種類にかかわらず、証書上の返済期日を入力します。

⑮

(例) 平成令和2-9年5月25日に3百万円返済……

返済期日	返済金額 (円)
[02905] ~ [] まで [] ヶ月毎 各 [25] 日	3000000

返済予定が複数ある場合には、⑪~⑮の手順を繰り返し、⑯~⑳を上から順に詰めて入力し、最後に ボタンを押します。連続して繰返さなかった場合には、エラーとなります。

なお、1画面に入力できる返済予定数は24までです。

- 第2編の業務処理区分「担保受払等 照会データファイル取得 担保残高等」(コード544201)のの③を横線のとおり改める。

- ③

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例)平成令和2-8年4月1日(和暦)……[0280401]

〃 (西暦)……[2016200401]

①で当日分を指定した場合には、入力を省略することができます。この場合において、照会日以外の日を入力したときは、エラーとなります。

①で過日分を指定した場合には、照会日の属する月の前月第1営業日から照会日の前営業日までの日に限り入力することができます。

④から⑭を入力しない場合には、③を入力後ボタンを押します。

- 第2編の業務処理区分「担保受払等 照会データファイル取得 担保受払明細」(コード544202)のの③を横線のとおり改める。

- ③

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例)平成令和2-8年4月1日(和暦)……[0280401]

〃 (西暦)……[2016200401]

①で当日分を指定した場合には、入力を省略することができます。この場合において、照会日以外の日を入力したときは、エラーとなります。

①で過日分を指定した場合には、照会日の属する月の前月第1営業日から照会日の前営業日までの日に限り入力することができます。

④から⑬を入力しない場合には、③を入力後ボタンを押します。

- 第2編の業務処理区分「担保受払等 照会データファイル取得 担保種類別担保価額合計額」(コード544203)のの②を横線のとおり改める。

- ②

年月日(和暦または西暦のいずれか一方)を入力します。

(例)平成令和2-8年4月1日(和暦)……[0280401]

〃 (西暦)……[2016200401]

①で当日分を指定した場合には、入力を省略することができます。この場合において、

照会日以外の日を入力したときは、エラーとなります。

①で過日分を指定した場合には、照会日の属する月の前月第1営業日から照会日の前営業日までの日に限り入力することができます。

③から④を入力しない場合には、②を入力後 **実行** ボタンを押します。

- 第2編の業務処理区分「担保受払等 照会データファイル取得 担保受払明細 (国債決済代行者)」(コード544204)の**入力手順**の②を横線のとおり改める。

- ② **受払日 (照会日の属する月の前月第1営業日から照会日までの日に限ります。)を入力します。**

年月日 (和暦または西暦のいずれか一方) を入力します。

(例) 平成令和2-8年4月1日 (和暦) …… [0280401]

〃 (西暦) …… [2016200401]

①で当日分を指定した場合には、入力を省略することができます。この場合において、照会日以外の日を入力したときは、エラーとなります。

①で過日分を指定した場合には、照会日の属する月の前月第1営業日から照会日の前営業日までの日に限り入力することができます。

③から⑧を入力しない場合には、②を入力後 **実行** ボタンを押します。

- 第2編の業務処理区分「適格担保管理 照会データファイル取得 時価・掛目一覧」(コード514201)の**入力手順**の②を横線のとおり改める。

- ② **対象日 (照会日当日からその5営業日後までの営業日に限ります。)を入力します。**

年月日 (和暦または西暦のいずれか一方) を入力します。

(例) 平成令和2-8年4月1日 (和暦) …… [0280401]

〃 (西暦) …… [2016200401]

対象日を照会日とする場合には、入力を省略することができます。

③を入力しない場合には、②を入力後 **実行** ボタンを押します。

- 第2編の業務処理区分「与信 照会データファイル取得 所要担保価額」(コード534201)の**入力手順**の②を横線のとおり改める。

- ② **対象日 (照会日の属する月の前月第1営業日から照会日までの日に限ります。)を入力します。**

年月日 (和暦または西暦のいずれか一方) を入力します

(例) 平成令和2-8年4月1日 (和暦) …… [0280401]

〃 (西暦) …… [2016200401]

①で当日分を指定した場合には、入力は不要です。

①で過日分を指定した場合には、照会日の属する月の前月第1営業日から照会日の前営業日までの日に限り入力することができます。

③以降を入力しない場合には、②を入力後 **実行** ボタンを押します。

経過措置

- 2019年5月1日以後に、日本銀行金融ネットワークシステムにより、次表左欄に掲げる業務処理小区分の入力を行う場合において、同表右欄に掲げる年月日を和暦で入力するときは、冒頭に「H」を付す必要があります。

(例) 平成31年4月1日(和暦) …… [H310401]

業務処理小区分	コード	入力する年月日
	担保差入(証書貸付債権)	541105
担保残高等	544201	平成31年4月30日以前の年月日
担保受払明細	544202	平成31年4月30日以前の年月日
担保種類別担保価額合計額	544203	平成31年4月30日以前の年月日
担保受払明細(国債決済代行者)	544204	平成31年4月30日以前の年月日
所要担保価額	534201	平成31年4月30日以前の年月日